

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答は、全て解答用紙に記入しなさい。
- 3 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、記号で書きなさい。
- 5 問題用紙は、冊子の形になっています。
- 6 問題は、表紙の裏を1ページとし、7ページまであります。開始の合図で問題用紙の各ページを確認し、始めなさい。
- 7 問題用紙の表紙と解答用紙の受検番号欄に、それぞれ受検番号を記入しなさい。

受検番号

一

【本の一部】

次は、チヨウヤガについて書かれた【本の一部】と【図鑑の一部】です。これらを読んで、後の1から6までの各問いに答えなさい。

著作権使用許諾申請中

著作権使用許諾申請中

著作権使用許諾申請中

1 【図鑑の一部】に ～～線部「羽化の時期」とありますが、【本の一部】では「羽化の時期」と同じ内容を別の言葉で表現しています。その言葉を【本の一部】の中から十三字で探し、抜き出しなさい。

2 【図鑑の一部】の【図】に表されているのは、次のどちらのアメリカシロヒトリについてですか。【本の一部】から読み取り、次のアかイのどちらか適切な方を選び、記号で答えなさい。

ア 五月のアメリカシロヒトリ イ 七月のアメリカシロヒトリ

3 次の疑問点のうち、【図鑑の一部】からしか答えが得られないものはどれですか。次のアからエまでのうち、最も適切なもの一つを選び、記号で答えなさい。

ア 虫たちにとって羽化の時期がなぜ大切なのか。 イ アメリカシロヒトリが羽化する時刻はいつか。
ウ アメリカシロヒトリは年に何回羽化するのか。 エ 越冬したサナギが羽化する時期はいつなのか。

4 【本の一部】の —— 線部 a について、この調査により明らかになった結論はどんなことですか。結論が書かれている一文を【本の一部】の文章中から抜き出し、そのはじめと終わりの五字ずつを書きなさい。ただし、句読点を含むものとする。

5 【本の一部】の —— 線部 b について、何を明らかにするために、どのような実験を行いましたか。その説明を次の条件 1 から条件 3 にしたがって書きなさい。

条件 1 「五月のアメリカシロヒトリが、」という書き出しに続けて書くこと。

条件 2 「羽化」、「暖かい部屋」、「涼しい部屋」という言葉を全て使って書くこと。

条件 3 六十字以上、八十字以内で書くこと。(書き出しの部分の字数は含まない。)

6 【本の一部】と【図鑑の一部】の書き方を比べて、それぞれの文章の構成の特徴とその効果について、次の [] のようにまとめました。
[] 中の【図鑑の一部】の構成の特徴として () 内に当てはまる適切な言葉を考えて書きなさい。

【本の一部】

構成の特徴 文章だけで表現し、主として調べて分かった事実を、時間の経過にそって順序だてて述べている。
効果 何が課題で、どのような仮説を立てて実験を行い、結論を導き出したか、読み手が詳しく理解しやすい。

【図鑑の一部】

構成の特徴 ()
効果 知りたいことが見つけやすく、まず概要をとらえた後で、さらに詳しく具体的に理解することができる。

望さんは、次の【A】と【B】の二つの文章を読んで、調べたことなどを【望さんのノート】にまとめています。これらを読んで、後の1から4までの各問いに答えなさい。

【A】

フランスの哲学者ジャンケレヴィッチは、われわれの一日、一日が、それぞれはじめて読む本なのだと述べた。読書においては、ページを繰ることにあたらしい展開が待ちうける。同じように、毎日の生活も、日ごとにあたらしい一日として始まる。なにがおこるかかわからぬいし、危険もつきものである。ある意味では、毎日が冒険なのだ。

冒険とは、危険や困難を予測しつつ、覚悟をもって生に立ち向かうことである。多種多様な出来事と格闘し、ときに翻弄され、苦痛をこらむりながら、成長する試練の時間を生かすこともある。

だが、一方で、ひとりの人間が実際に経験できることが限られている。だれもが疾風怒濤の冒険ができるわけではない。たいていの人間は、日常の瑣末な積み重ねのなかで生きている。そこでわれわれは、自分の経験の貧しさを補うべく本に向かう。本のなかでは、日常では目にしない人間たちとの出会いが生まれる。めくるめく想像の世界に遊ぶことも、したたかな現実の世界の姿を知ることでもある。自分では体験しえないような異常な出来事、犯罪や悪、陰謀と抗争の渦まく世界にも入りこめる。それらは、われわれを鼓舞したり、動揺させたり、うちのめしたり、落ちこませたりする。その驚きや衝撃の連続が、思考力の強化や人間的な成長につながるのだ。

若者にとっては、昨日の経験を活かして、今日は昨日と違う自分をつくっていくこと、明日は今日の自分とは違う自分をめざすこと、そうした日々の姿勢と決意が成長にむすびつく。ニーチェは、脱皮しない蛇は死ぬと述べたが、大学生の場合でも、自分の狭さから脱けだす努力を怠れば、やがて人間的な魅力のとぼしい大人になってしまうだろう。

ここでジャンケレヴィッチの比喩に戻ってみよう。逆もまた真なのではないだろうか。われわれの読む一ページ、一ページがあたらしい人生経験なのだ。本がわれわれの人生を豊かにし、今度はその豊かさに裏うちされた読解力が本にあららしい息吹きを吹きこむ。この幸福な相互作用が始まればしめたものだ。われわれの人生はその深さとひろがり無限を増すだろう。

(和田 渡 『続・18歳の読書論』による。)

(注) 瑣末＝細かいこと。ニーチェ＝ドイツの哲学者。

【B】

ひとり燈のもとに文をひるげて、見ぬ世の人を友とするぞ、こよなう慰むわがなる。

(自分ひとりいるとき、燈火の下に書物をひるげて、自分の知らぬ時代の人を友にすることこそこの上なく心の慰むことだ。)

(『徒然草』第十三段による。)

昔から『徒然草』と言えはこの段を思い出す人がわりと多い。わたしは長いあいだ平凡な文章だと思って見過ごしてきた。が、道歩いているあるとき、ふと頭の中に「見ぬ世の人を友とするぞ」の一句が浮かび、ああ、これだと合点して、それからこの句が多くの人々に愛

される理由がわかったと思つた。

この一言で兼好は古典を読む楽しみを急所を言いあてているのである。書物というものを通して古人と相対するとき、その人は今自分の目の前にいる。千年前の人であろうが、何百年前の人であろうが、書物はその人の思いをつねに現在ただいまそこにあるものとして伝え、我々はその人と目の当たり対面する悦よろこびを持つ。これが読書の最高の喜び、幸福であると、兼好はそのことを「燈のもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とするぞ」の一言で言つてのけたのだ。

(注) 兼好『徒然草』の筆者。

(中野なかの 孝次こうじ 『すらすら読める徒然草』による。)

【望さんのノート】

国語辞典で調べた言葉

- しづぶう 【疾風】はげしく吹く風。
- どどろ 【怒濤】荒れ狂う大波。はげしく打ち寄せる波。
- いぶき 【息吹き】①呼吸。息。②気配。生氣。きざし。

二つの文章を読んで印象に残ったこと

【A】の文章について

- ・本を読むこと
- ↓自分の経験の貧しさを補うこと
- ・日常では目にしない人間たちと出会うこと
- ・めくるめく想像の世界に遊ぶこと
- ・したたかな現実の世界の姿を知ること

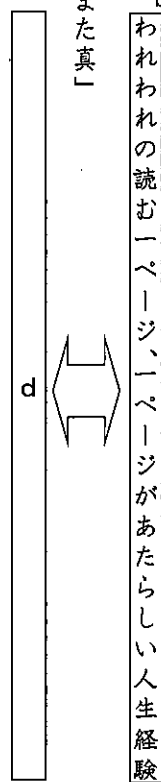
幸福な相互作用

本がわれわれの人生を豊かにする

豊かさに裏うちされた読解力が本にあたらしい息吹きを吹きこむ

着目した表現

「逆もまた真」



【B】の文章について

- ・本(古典)を読むこと
- ↓ e を友とする
- =
- 自分の知らない時代の人を友にする

古典を読む楽しみ

↓書物を通して昔の人と目の前で対面するように

昔の人の f を知ることができる

1 【A】の文章の——線部aの「逆もまた真」という表現に望さんは着目し、【望さんのノート】にまとめられています。bと「逆もまた真」という関係になっていて、【望さんのノート】のdに当てはまる適切な言葉を、【A】の文章中から抜き出して書きなさい。

2 【望さんのノート】のe、fに入る最も適切な言葉を、eは【B】の古文(原文)の中から、また、fは【B】の古文を解説している「昔から『徒然草』と言えは……」より後の部分から、それぞれ抜き出して書きなさい。

3 望さんは、光さんと、【A】の文章を読んで印象に残った箇所について話し合っています。次のgで示した会話を読んで、望さんの最後の発言のgに、光さんの質問の内容に対する答えとして適切な言葉を考えて書きなさい。

望さん 私は【A】の文章の最後の行の「この幸福な相互作用が始まればしめたものだ。」という表現が印象に残りました。

光さん 私もこの部分が印象に残りました。「この幸福な相互作用」とはどのような意味なのでしょう。

望さん 「この」が指しているのは、その一行前の、「本がわれわれの人生を豊かにし、今度はその豊かさに裏うちされた読解力が本にあたら

しい息吹きを吹きこむ。」という文ですね。

光さん そうですね。「本がわれわれの人生を豊かにする」というのは、【A】の文章の第一段落から第三段落に書かれているように、本を読

むことにより、直接には会えない人に出会うなどして自分の経験を補い、思考力が強化され、人間的に成長することだと思えます。

望さん はい。これが「相互作用」のうち、私たちが本から受ける作用ですね。そして、もう一方の作用について書かれているのが、「その豊

かさに裏うちされた読解力が本にあたらしい息吹きを吹きこむ」の部分だと考えられます。

光さん なるほど。私たちが本に「あたらしい息吹きを吹きこむ」ということですね。「息吹き」とはどういう意味ですか。

望さん 調べてみると、「息吹き」は、「生氣」のことでした。ですから「息吹きを吹きこむ」は「生氣を与える」といった意味だと思います。

光さん そうすると、「その豊かさに裏うちされた読解力」が「本」に「生氣を与える」というのは、どのような意味でしょうか。

望さん g

4 望さんは、これからも多くの本を読み、自分の視野を広げていきたいと考え、本の選び方について、光さんと翼さんに相談しています。あなたは、光さん、翼さんはどのように考えて、望さんへの助言をしたと思いますか。次のhで示した会話を読んで、後の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

望さん 読書を今後にかかしていくには、次に読む本をどのように選べばいいでしょうか。

光さん 私は、同じ筆者が書いた別の本を読み進めていくようにしていますよ。

翼さん 私は、分野やテーマを限定せず、いろいろな筆者が書いた本を読んでいくといいのではないかと思います。

条件1 光さん、翼さんのどちらか一人を選び、解答用紙に、選んだ方の名前を○で囲んだうえで、その人が勧める本の読み方には

どのような利点があるかについて具体的に書くこと。

条件2 【A】または【B】の文章の内容を、引用したり要約したりして用いること。

条件3 原稿用紙の正しい使い方がい、八十字以上、百二十字以内で書くこと。

三

次の1から4までの各問いに答えなさい。

1 次の①から⑤までの文中の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- ① ケイトウだてて話す。
- ② 図書館で本をカしてもらう。
- ③ 将来のユメを語る。
- ④ 赤みをオびた金属。
- ⑤ 彼のテイアンを受け入れる。

2 次の①から⑤までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きなさい。

- ① 科学の発展に貢献する。
- ② 機械を上手に操る。
- ③ 道具を大切に扱う。
- ④ 空が美しく澄んでいる。
- ⑤ 郷土芸能を鑑賞する。

3 望さんは、次の□で示した【読んでいた本の一部】の——線部「精進を重ねる」の意味が分からなかったので、国語辞典で調べました。後の【国語辞典】に載っている「精進」と「重ねる」を説明している言葉をそれぞれ踏まえて、「精進を重ねる」の意味を書きなさい。ただし、「精進」については①から④の、「重ねる」については①から③のいずれかの説明から最も適切なものを選び、その言葉を使いなさい。

【読んでいた本の一部】

その水泳選手は、高い目標を掲げ、精進を重ねることにより、大きく記録を伸ばすことができた。

【国語辞典】

しょうじん【精進】(名)

- ① ひたすら仏道修行に励むこと。
- ② 心身を清め行いを慎むこと。
- ③ 肉食せず、菜食すること。
- ④ 懸命に努力すること。

かさ・ねる【重ねる】(他動・下一段)

- ① 物の上に更に物をのせる。
- ② 事の上に事を加える。繰り返す。
- ③ 月日・年齢を積む。

4 次の文には、敬語の使い方が誤っているところがあります。誤っているところを一文節で抜き出し、正しい言い方に直して書きなさい。

美術作品を展示しているとお聞きになった校長先生が、私たちの教室にいらっしやり、生徒の絵を拝見されました。

※印の欄には何も記入しないこと。

※ 一

4	はじめ
2	
3	
4	終わり
1	

4	はじめ
2	
3	
4	終わり
1	

5				五
				月
				の
				ア
				メ
				リ
				カ
				シ
				ロ
				ヒ
				ト
				リ
				が
				、

6

※ 二

2	e
1	
2	f
1	

3

4							
選んだ方の名前							
光さん							
翼さん							

※ 三

2	①	①
2	②	②
2	る	し
2	③	③
2	う	④
2	④	④
2	ん	び
2	⑤	⑤

※

4	誤っているところ
3	
4	正しい言い方

80字 120字

受検番号